

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30年 12月 11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502983		
法人名	有限会社 ピュア・ハート		
事業所名	グループホーム春里		
所在地	広島県福山市新市町戸手657番地1 (電話) 0847-51-5665		
自己評価作成日	平成30年11月16日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2018_022_kani=true&JigyosyoCd=3471502983-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年12月7日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気、個人の思いを尊重し、一人一人に合った支援を提供している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

穏やかな住宅街にある事業所である。事業所基本理念のもと、年間目標を掲げ、職員全員で分かりやすい月間目標を定め、実践に繋げ、評価する事によりケアの向上に活かされている。又、近隣の小中学校、ボランティアの受け入れ体制も整っていて、世代を超えた交流もあり、地域に事業所を知って頂けるよう、顔なじみの関係作りにも努めている。利用者一人ひとりの状態・状況に合わせて利用者の思い、家族の意向を共有し、「何が必要か・なにをすべきか」職員全員が現状に即した介護に努めている。医療面に関しても、看護師が在籍していて薬の管理も出来ている。提携医との24時間対応体制も整っていて、利用者・家族にとっても不安を抱える事なく、安心出来る事業所である。
--

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ホームに掲示している理念を出勤時に確認している。	「グループホーム春里」理念の下、理念に沿った年間目標を定め、一人ひとりの状態を把握し、個々の利用者にあったケアが出来るよう、12月に翌年の月毎の月別目標を職員全員で出し合い設定、毎月各自で評価を行い、年2回の個人面談の際、検討して次への実現に向けての取り組みに繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	小学生・ボランティアの受け入れ、チャレンジウィーク(中学生)の受け入れ、家族会での地域との交流を行っている。	近隣の小学校児童が2回に分けて訪問がある。1回は交流会、2回は小学校児童が自ら考えた「紙芝居・風船バレー等」十数名の交流がある。中学生は夏休みを利用し、職場体験が毎年あり受け入れている。中学生生徒が事業所の取り組み、関わり方など現場を通して学び、後日お礼、感想文が届き、世代をこえた交流もある。ボランティアの参加もあって、昔から付き合いの地域の方による、踊りの披露がある。又、地域の夏祭りには、神輿が事業所近くを通り、笛・太鼓の音色を聴く事で懐かしさを思い起こす機会になっている。	理念の1つである「町内の行事に参加して交流をはかって行きます」本年度は難しい面もあった事と思われませんが、運営推進会議に参加される地域の方等からの情報を得る事により地域の方等からの情報を得る事により地域の行事に参加し易くなり、事業所の行事にも参加して頂けるような情報発信の場になればと期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議にて、ホームでの取り組みについて、地域の方へ報告し、理解を深める努力をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議でホームの現状(利用者人数、平均介護度、平均年齢など)及び行事・入居者のホーム内での様子についての報告を行い、また、勉強会ではグループワーク等を行い、参加者の意見を聞き、ホーム内で反映している。	運営推進会議は家族、市職員、地域包括支援センター職員、地域の方、民生委員、事業所職員も参加し、定期的に開催されている。事業所の現状報告・講師を招いての勉強会・グループワーク等、意見交換の場になっている。運営推進会議後のアンケート回収を行い、出た意見が反映出来るよう努めている。	運営推進会議に家族の参加は難しい面もあると思いますが、より沢山の参加を得る為にも、身近な話題を議題にする事で、一人でも多くの家族の方が、参加して頂けるよう期待します。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組を積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に、支所・包括の方にも参加して頂き、現状報告や質問などを行い、情報を共有している。	運営推進会議に市担当職員の方の参加があり、意見・情報を頂く事もある。又、日頃から電話連絡したり、出向いて相談する等、協力関係が築けるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについては、勉強会を行い職員に周知している。日常での言葉（声かけ）や態度で気になる点があれば、その都度、リーダー及び職員間で注意し合って改善に努めている。精神薬を内服している方には、状態を観察・把握し、その都度、医師と相談し、できるものは減量・中止など行うようにしている。	身体拘束をしないケアについて、職員が重ねて研修会・勉強会を実施することで全職員周知している。日常の関わりの会話の中でも、言葉かけ・声掛けにも身体拘束に繋がらないか職員間で注意して、常に意識づけしている。（ドア入り口に鈴を設置し、音で行動が分かるように工夫もされている。）	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止については全職員で学び、研修があれば行くようにしている。職員個人のファイル内に虐待・拘束の勉強に携わる事は用意しており、見返す事が容易なようにしてある。防止にも努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護、成年後見制度の勉強会は、全員に徹底するよう運営推進会議にて行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約内容の把握が困難であった場合、随時、理解促進や納得いただけるような働きかけをしている。又後日でも不明な事があれば尋ねて頂ける様伝えている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	定期的に来所される家族も多く、来所時に利用者さん家族の意見・要望を聞いて、日常のケアに活かすようにしている。	日頃のケアの中で、気になる事等電話で連絡を取ったり、面会時、家族から出た意見等を個人ノートに記載し、職員間で共有している。家族会でドライブ、花見に外出した後の食事会の時出た意見等も、支援に向けて活かせるようにしている。（中に散歩に出かけて欲しい意見もあった。）	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング時以外にも個人毎に聞いたり提案したりしている。またそれを実施に向け取り組んでいる。</p>	<p>日頃から勤務する中での気づきや年2回の個人面談時、意見や提案を聞いている。職員の意見の中に、ミーティングの開始時間を皆が参加しやすい時間帯にして欲しい意見があり、迅速に対応、集まりやすい午前中に変更したりと反映に活かされている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談は基より、職員の態度や表情等に変化ある時は、随時声掛けや話を聞く機会を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階に応じての研修参加の推奨や必要と思われる研修への支援、希望する研修への参加支援等行なっている。又、勤務内での育成講習も随時行なっている（介護技術、声掛け等）</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>各種研修・勉強会等を通じ、各種向上を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談や家族・ケアマネジャー・サマリーからの情報を基に、入居後も関わりながら情報を得て、安心して生活して頂ける様努めている。 入居されてからも、様子・状態をスタッフ間で情報交換し、不明な点等ご家族に確認し、出来るだけ早く新しい生活に慣れて頂くよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族が来所されることが多く、その都度、要望を聞きこちらもわからない部分は、日頃の様子を伝え、意見交換し、より良いケアが出来る様努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>グループホーム希望があった場合でも、必要か否かを見て、他事業所や他サービスを勧めたりしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>家族の様に話をしたり、入居者から分からないこと等、人生経験を通しての指導をしてもらったり等の交流が来ている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>各入居者の家族の来所、比較的多く、親子での交流、会話をよくされたり、受診等、家族側から積極的に協力して頂いている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>馴染みの人（地域の知り合い）、地域の方の慰問などで、つながりの継続に努めている。</p>	<p>以前からの関係が途切れる事のないよう、家族の協力のもと、行きつけの美容院に外出されたり、地域の昔からの友人の訪問が月1～2回ある等、馴染みの関係が途切れる事のないよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共通の楽しみから、会話して頂いたり、入居者同士のコミュニケーションが難しい場合、各々の性格・相性を把握し、スタッフが間に入り、良好な関係が築ける様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホーム退去後も気軽に来て頂ける様な関係を保っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向の把握に努めており、希望を交えた本人さんの思いにその都度検討している。本人さんからの意思が全く聞けない（疾病等により）場合には家族さんへの相談を行い、本人さんが望むであろう事も検討している。	利用者の生活歴や背景を知る嗜好調査により、思いや意向を把握し、日々の個人記録、介護記録を踏まえて、意識を持って安らぎのある生活が送って頂けるよう支援されている。把握困難な利用者には家族から情報を得たり、日々のケアの中から表情、態度を汲み取り、本人が望むであろう事について検討し支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前に話を伺う以外に、入居後も本人さん・家族さんとの会話で、バックグラウンド作りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ユニット職員内で問題やその人の状態・現状を把握し、アセスメント表やカンファレンス、申し送り（連絡ノート・個人ノート）でケアマネジメントに活かしている。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人の希望や状態、現状を把握し、家族の訪問時等には意向を聞いている。3か月に1度のモニタリングや前回のプランの評価をもとにカンファレンスを行い、介護計画を作成している。</p>	<p>利用者の今の状態のアセスメントを行い把握し、家族にも面会時等で意向や思いを確認し、家族の要望も含めて、利用者の趣味、嗜好が反映された介護計画書原案を作成し、利用者・家族に内容の説明を行い、本プランに署名してもらっている。3か月毎にモニタリングを実施し、評価をもとにカンファレンスを行い、介護計画書見直しもしている。又、身体状態の変化があれば、現状に即した介護計画書を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>介護記録は基より、本人さんの個別ノートで疾病や薬の変更等記載し見直し時に活用できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>急な入居受入れなど(当日入居)にも、対応していくようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>民生委員・ボランティア等にご協力頂き、ホーム内外での行事への参加や消防署の方には避難訓練などで指導を頂いている。また、本人の意向により地域での外食を行なっている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>必要時のかかりつけ医以外の受診対応や往診対応等、家族・かかりつけ医・看護師と話し合い、その都度その方に必要な支援をしている。本人の精神的な面で、かかりつけ医が2か所ある方もいる。</p>	<p>近隣に事業所の提携医があつて、2週間に1回往診、歯科の往診も月に2回ある。又、利用者・家族の意向で以前からのかかりつけ医が数名おられ、家族受診の時、診察内容も把握出来る協力体制が整っていて、適切な医療が受けられるよう支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や協力医療機関の看護師に随時相談しながらその時適した健康管理や医療への支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の連携はもちろんの事、情報交換や相談等も随時行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時に、現段階の終末期に対する思いを聞いている。重度化した場合は、本人の思いを優先しながら、家族から希望を細かく伺い、主治医・全職員で支援に取り組んでいる。	利用開始時、「終末期に向けた指針について」家族に説明している。職員も看取りについての勉強会に参加し、職員間で周知している。時間経過と共に揺れ動く家族の思いも汲み入れて、24時間対応の提携医の指示を仰ぎながら、家族・主治医・看護師・職員等、多職種チームで支援できる体制に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	応急手当で・心肺蘇生・AED使用等、各自、研修会に参加し、知識を得ている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出火場所を変えたり、日勤帯、夜勤帯と想定時間を変え、年2回の避難訓練を行っている。	5月、12月と年2回昼間、夜間を想定した避難訓練を行っている。そのうち1回は消防署署員の立ち合い指導の下、適切なアドバイスを頂いている。今後は地域住民の方にも協力体制が築けるような、声掛けをする考えである。災害時の備蓄品に関しても同様な考えである。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛け等はプライバシーが保てるよう各職員が留意している。個人情報取り扱いについても同じくである。	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損なう事のないよう、他利用者にも配慮し、耳元で話したり、言葉を変えたり、表現を変える等職員が意識し、尊敬の念を持って利用者にあった、声掛け・言葉かけに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話ができる方に関しては、思いや希望を出せるよう働きかけ、自己決定の支援をしている。話が出来ない方に関しては、家族さんと協力して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、臥床、食事、家事手伝、レクリエーション行事等をその人のペースや心身状態に合せ、希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみやおしゃれは支援している。洗顔後、美容クリームを塗ったり、理容・美容院では望む髪型など意向を聞いてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	介護度が上がってきているが、できる方は、行事としておやつ作りを手伝ってもらっている。好み等も把握し提供している。	食材は業者から配達してもらい、事業所で料理している。おやつをパンにしたり、誕生日はケーキにしたり楽しめる物を提供している。全員で一緒に外食は難しいが数名単位で外食する事もある。又、ミキサー食の利用者に、毎日の健康状態を把握する事で、固形食にする等形状を変える工夫もみられる。	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分確保の為、4回/日の水分摂取(食事時外)を施行して、水分拒否のある方は、その方の気分に合わせて、容器の工夫や配分及び飲み物の種類の変更などで対応している。食事も同様。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔状態や本人さんの力量に応じ用具も使用し支援している。状態に応じ歯科医の往診による口腔ケアをしている。専門的な治療が必要な場合は、ご家族と相談し、治療につなげている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各入居者の排泄パターンを把握して、トイレ誘導・パット交換を行っている。その際、自尊心を損なわないように配慮している。</p>	<p>利用者の個人の排泄パターンを知る事や、声掛け誘導を工夫する事で日中は布パンツの利用者も2名おられる。排便に関しても下剤を調節したり、食物・飲物(牛乳、乳製品)身体を動かす事等、排便がスムーズに行えるよう、下剤に頼らない工夫もされている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>原因や影響等理解できており対応の為の飲食物(牛乳、乳酸菌飲料など)、体を動かすことでなるべく下剤に頼らない方向に変更する努力、その他の工夫を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の手合わせで曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>2～3日に1回、午後入浴となっている。利用者の希望や体調によって、個別に柔軟に対応している。入浴を拒む方には、声掛けや職員の交代やタイミングを見ながら支援し、清潔保持に努めている。</p>	<p>週2～3回午後入浴を基本とし、入浴を拒む利用者には時間を置いて声掛けをしたり、職員を変える等して、無理強いは決して行わないよう努めている。又、お湯の温度調節をしたり、バスクリンや皮膚のかさつき予防に弱酸性石鹸を使用したり、入浴後の乾燥に保湿効果のあるローションを塗布する等配慮されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は本人の意思を尊重す るが、その時の状況に応じ安眠 できるよう支援している。 休息はその人のペースや身体状 態に応じた支援をしている。そ の都度、臥床も取り入れ気分転 換も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬支援と症状変化の確認に 勤めており、薬の目的・効能等 、薬ケースに貼付し、理解しや すいようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ぎせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	家族さんにも生活歴や好きだ ったこと等尋ねながらその人に 合った役割を支援している。 レクリエーションや行事等で 気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に 合わせて、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	気分転換に外食を行っている。 天候の良い日に、スタッフが 順番で近所を散歩する。	窓から眺める景色だけでなく、 季節を感じてもらえるよう、 家族会で春の桜見物やドライブ に出かけている。近隣のファミ リーレストランで外食をしたり 、天候や体調を見ながら職員 と一緒に散歩する等、楽しめる 外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	立替で買い物ができる様支援 している。		

自己評価	外部評価	項目(1F)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>年賀状を職員と一緒に作成し、コメントなどできるだけ自筆できるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>壁面や各居室入り口に季節の飾り付けや行事の写真、入居者さんの作品等展示し、生活感溢れた居心地良い雰囲気作りに努めている。リビング照明は場所ごとに点灯するので光の強度を落とすことも出来る。</p>	<p>共有空間であるリビングの壁面には季節感のある利用者、職員の作品が展示されている。フロア内は広く移動しやすいスペースである。照明も場所ごとに明るさの調節が出来るよう工夫されている。（テーブルも広くて、出来る利用者には洗濯たみをしてもらっている。）</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>天気の良い日にはデッキにて日向ぼっこやフロアには座りやすいソファがあり、共用スペースでゆっくり出来るよう工夫したり、気分転換に違う階に行ったり等過しやすい工夫をしている。また、安否確認をしながら各々の居室で自由に昼寝、テレビ（私物）を観て過ごしたりなるべく束縛のないよう対応している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>各居室には、日常の生活の中で見られた笑顔の写真・真剣なものごとに取り組んでいる写真等を貼ったり・テレビ等各々がリラックスできる空間づくりをしている。</p>	<p>居室はエアコン、ベット、木製のタンスが備え付けである。それ以外は自宅で使い慣れた物、大切にされている物を持って来られ、自宅と同じ環境作りがされている。壁面には日頃の様子の写真や家族の写真等を貼られていて、笑顔で穏やかな生活が送れるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレには、分かりやすいよう札を貼り、各居室にも名札を表示し、戸にも自分で確認できるような張り紙で混乱を防いでいる。</p>		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。</p>	ホームに掲示している理念を出勤時に確認している。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	小学生・ボランティアの受け入れ、チャレンジウィーク（中学生）の受け入れ、家族会での地域との交流を行っている。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	運営推進会議にて、ホームでの取り組みについて、地域の方へ報告し、理解を深める努力をしている。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	運営推進会議でホームの現状（利用者人数、平均介護度、平均年齢など）及び行事・入居者のホーム内での様子についての報告を行い、また、勉強会ではグループワーク等を行い、参加者の意見を聞き、ホーム内で反映している。		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	運営推進会議に、支所・包括の方にも参加して頂き、現状報告や質問などを行い、情報を共有している。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについては、勉強会を行い職員に周知している。日常での言葉（声かけ）や態度で気になる点があれば、その都度、リーダー及び職員間で注意し合って改善に努めています。精神薬を内服している方には、状態を観察・把握し、その都度、医師と相談し、できるものは減量・中止など行うようにしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止については全職員で学び、研修があれば行くようにしている。職員個人のファイル内に虐待・拘束の勉強に携わる事は用意しており、見返す事が容易なようにしてある。防止にも努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護、成年後見制度の勉強会は、全員に徹底するよう運営推進会議にて行った。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約内容の把握が困難であった場合、随時、理解促進や納得いただけるような働きかけをしている。又後日でも不明な事があれば尋ねて頂ける様伝えている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>定期的に来所される家族も多く、来所時に利用者さん家族の意見・要望を聞いて、日常のケアに活かすようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング時以外にも個人毎に聞いたり提案したりしている。またそれを実施に向け取り組んでいる。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>個人面談は基より、職員の態度や表情等に変化ある時は、随時声掛けや話を聞く機会を設けている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階に応じた研修参加の推奨や必要と思われる研修への支援、希望する研修への参加支援等行なっている。又、勤務内での育成講習も随時行なっている（介護技術、声掛け等）</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>各種研修・勉強会等を通じ、各種向上を図っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談や家族・ケアマネージャー・サマリーからの情報を基に、入居後も関わりながら情報を得て、安心して生活して頂ける様努めている。 入居されてからも、様子・状態をスタッフ間で情報交換し、不明な点等ご家族に確認し、出来るだけ早く新しい生活に慣れて頂くよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族が来所されることが多く、その都度、要望を聞きこちらもわからない部分は、日頃の様子を伝え、意見交換し、より良いケアが出来る様努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	グループホーム希望があった場合でも、必要か否かを見て、他事業所や他サービスを勧めたりしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	家族の様に話をしたり、入居者から分からないこと等、人生経験を通しての指導をしてもらったり等の交流が来ている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	各入居者の家族の来所、比較的多く、親子での交流、会話をよくされたり、受診等、家族側から積極的に協力して頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの人（地域の知り合い）、地域の方の慰問などで、つながりの継続に努めている。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	共通の楽しみから、会話して頂いたり、入居者同士のコミュニケーションが難しい場合、各々の性格・相性を把握し、スタッフが間に入り、良好な関係が築ける様努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ホーム退去後も気軽に来て頂ける様な関係を保っている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	意向の把握に努めており、希望を交えた本人さんの思いにその都度検討している。本人さんからの意思が全く聞けない（疾病等により）場合には家族さんへの相談を行い、本人さんが望むであろう事も検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	事前に話を伺う以外に、入居後も本人さん・家族さんとの会話で、バックグラウンド作りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ユニット職員内で問題やその人の状態・現状を把握し、アセスメント表やカンファレンス、申し送り（連絡ノート・個人ノート）でケアマネジメントに活かしている。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人の希望や状態、現状を把握し、家族の訪問時等には意向を聞いている。 3か月に1度のモニタリングや前回のプランの評価をもとにカンファレンスを行い、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	介護記録は基より、本人さんの個別ノートで疾病や薬の変更等記載し見直し時に活用できるようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	急な入居受入れなど（当日入居）にも、対応していくようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	民生委員・ボランティア等にご協力頂き、ホーム内外での行事への参加や消防署の方には避難訓練などで指導を頂いている。また、本人の意向により地域での外食を行なっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	必要時のかかりつけ医以外の受診対応や往診対応等、家族・かかりつけ医・看護師と話し合い、その都度その方に必要な支援をしている。本人の精神的な面で、かかりつけ医が2か所ある方もいる。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護職員や協力医療機関の看護師に随時相談しながらその時適した健康管理や医療への支援を行なっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の連携はもちろんの事、情報交換や相談等も随時行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用開始時に、現段階の終末期に対する思いを聞いている。重度化した場合は、本人の思いを優先しながら、家族から希望を細かく伺い、主治医・全職員で支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	応急手当で・心肺蘇生・AED使用等、各自、研修会に参加し、知識を得ている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	出火場所を変えたり、日勤帯、夜勤帯と想定時間を変え、年2回の避難訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	声掛け等はプライバシーが保てるよう各職員が留意している。個人情報の取り扱いについても同じくである。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話ができる方に関しては、思いや希望を出せるよう働きかけ、自己決定の支援をしている。話が出来ない方に関しては、家族さんと協力して支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	起床、臥床、食事、家事手伝、レクリエーション行事等をその人のペースや心身状態に合せ、希望にそって支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	身だしなみやおしゃれは支援している。洗顔後、美容クリームを塗ったり、理容・美容院では望む髪型など意向を聞いてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	介護度が上がってきているが、できる方は、行事としておやつ作りを手伝ってもらっている。好み等も把握し提供している。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分確保の為、4回/日の水分摂取（食事時外）を施行して、水分拒否のある方は、その方の気分に合わせて、容器の工夫や配分及び飲み物の種類の変更などで対応している。食事も同様。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔状態や本人さんの力量に応じ用具も使用し支援している。状態に応じ歯科医の往診による口腔ケアをしている。専門的な治療が必要な場合は、ご家族と相談し、治療につなげている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>各入居者の排泄パターンを把握して、トイレ誘導・パット交換を行っている。その際、自尊心を損なわないように配慮している。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>原因や影響等理解できており対応の為の飲食物（牛乳、乳酸菌飲料など）、体を動かすことでなるべく下剤に頼らない方向に変更する努力、その他の工夫を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>2～3日に1回、午後の入浴となっている。利用者の希望や体調によって、個別に柔軟に対応している。入浴を拒む方には、声掛けや職員の交代やタイミングを見ながら支援し、清潔保持に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	就寝時間は本人の意思を尊重す るが、その時の状況に応じ安眠 できるよう支援している。 休息はその人のペースや身体状 態に応じた支援をしている。そ の都度、臥床も取り入れ気分転 換も行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	服薬支援と症状変化の確認に努 めており、薬の目的・効能等、 職員一人一人が把握するように している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。	家族さんにも生活歴や好きだ ったこと等尋ねながらその人に 合った役割を支援している。 レクリエーションや行事等で 気分転換の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。	気分転換に外食を行っている。 天候の良い日に、スタッフが 順番で近所を散歩する。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。	立替で買い物が出来る様支援 している。		

自己評価	外部評価	2F	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	年賀状を職員と一緒に作成し、コメントなどできるだけ自筆できるように支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	壁面や各居室入り口に季節の飾り付けや行事の写真、入居者さんの作品等展示し、生活感溢れた居心地良い雰囲気作りに努めている。リビング照明は場所ごとに点灯するので光の強度を落とすことも出来る。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	気分転換に違う階に行ったり等過ごしやすい工夫をしている。また、安否確認をしながら各々の居室で自由に昼寝、テレビ（私物）を観て過ごしたりなるべく束縛のないよう対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	各居室には、日常の生活の中で見られた笑顔の写真・真剣なものごとに取り組んでいる写真等を貼ったり・テレビ等各々がリラックスできる空間づくりをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレには、分かりやすいよう札を貼っているが、居室には混乱される方がおられるため、名前を貼っていない方が多い。		

V アウトカム項目(1F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目(2F) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム春里

作成日 平成31年1月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議への参加者が少ない	ご家族の参加を増やす。	わかりやすい内容の議題を提示する。	2019年2月～
2	4	運営推進会議の開催方法	小規模と別々に行う。	小規模と別々に行う。	2019年2月～
3	35	避難訓練に地域住民の参加がない	年2回の内1回は地域の方に参加して頂く。	地域の方へ声をかけたり案内を配布する。	2019年5月～
4	2	町内行事への参加が少ない	地域行事へ会社として参加する。	溝掃除、地域の行事へ準備段階から参加する。	2019年5月～
5	35	災害時の対策ができていない	備蓄をする。	飲み物、長期保存可能な食糧を備蓄する又避難場所としてホームを活用できることを地域へお知らせする。	2019年3月～
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。